

東邦樹脂工業株式会社

～ 私たちは『包むこと。』への、無限の可能性を最先端技術で、お応えいたします。～

所在地 栃木県下都賀郡野木町野木148番地

設立年月日 1960年(昭和35年)6月21日

従業員数 146名(2015年11月1日現在)

主な事業内容 当社は1960年の創業以来、包装材料の専門メーカーとして、これまでの50余年で培った高度なラミネート技術により様々な高付加価値を有した包装用複合フィルムを誕生させ、パッケージの形態を大きく進化させてきました。皆さんの身近な包装資材、食品から医療・工業用・日用品など様々な製品の内容物にマッチした包装材を生産しています。昨今ではサトウキビ由来の原材料を使用した環境に優しい新素材フィルムを積極的に提案し、地球環境保護に少しでも貢献できるよう努めています。



《社員のひとこと》

今年の2月に静岡から転職し、早11か月が経ちました。自然豊かで、人々が温かいというのが野木町の印象です。そんな野木町の更なる発展に貢献できるように頑張りますので宜しくお願い致します。
(経理課 藤原 彰)

広報連絡委員レポートNo.356

児童の見守り活動



広報連絡委員
半田 端五

毎年児童を標的に幼い命が無残に奪われる事件が発生しています。栃木県では、2005年12月(現日光市)で小学1年生の女児が連れ去られ殺害された。かなりの経過が過ぎ、2014年6月に容疑者が逮捕されたが今だ裁判が開かれず全容が明らかになっていません。大きな反響を呼び全国各地で再発を防止しようと見守りパトロール隊が結成され活動を行うようになりました。そこで、わが卯ノ木クラブでも、2012年に児童の見守り活動に取り組むこととし、現在16名の会員が都合の良い日に、新橋小学校児童の下校時に通学路の各所に立ち見守り活動に取り組んでいます。

皆さんから、小学5年生の女児に「古河病院どこか教えて」と聞かれたそうです。なぜ、野木で聞くことなのか、このような事は一歩間違えば大きな事故に繋がるような事かもしれない。また、1年生の児童からは、電柱に「死ね」と落書きしてあるとの知らせがあり、確認したところマジックで書いてありましたので、すぐ紙ヤスリで消しました。

その他、低学年の児童は「トイレに行きたい」「転んで擦り傷をおった」「お腹が痛くなつた」「班長の言うことを聞かない」「道路いっぱいになって歩く」等さまざまな事象が起きますが、私共はそれ相応に対応しています。児童の日々の安全と成長を祈りながら、今後も見守り活動に取り組んで行きたいと思っております。

